

平成25年度 第4回朝日地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成26年2月13日（木）13:30～14:45
2. 開催場所 朝日支所 2階 第1会議室
3. 出席委員 島田好、忠隆司、遠山榮作、本間太一、鈴木芳太郎、大滝重秋、大場美子、小池徹、佐藤利子
4. 欠席委員 本間進二、中山好栄、大滝由博
5. 出席職員 地域振興課：本間支所長、岩沢課長補佐、五十嵐副参事、島田主査
(事務局)
6. 会議次第 別紙のとおり
7. 会議経過 別紙のとおり

平成25年度 第4回 朝日地区地域審議会 会議次第

日 時 平成26年2月13日(木)

午後1時30分～

場 所 朝日支所 2階 第1会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

(1) 村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会委員の選出について【資料1】

4 議 事

(1) 朝日地区地域活性化推進事業について【資料2】

5 その他

6 閉 会

会 議 経 過

1. 開会

事務局； 定刻になりましたので、ただ今から平成25年度第4回朝日地区地域審議会を開催いたします。なお本日、本間進二委員、中山好栄委員、大滝由博委員から欠席の連絡を受けております。

2. あいさつ

会 長； ごめんください。今日は地域審議会ということでお集まりいただきました。先の11月6日の地域審議会は体調不良により急きょ休ませていただき、副会長に議事のまとめをお願いしまして申し訳ありませんでした。継続審議となっている地域活性化推進事業について慎重審議いただきたいと思いますが、事務局案ではこれまでの審議を踏まえ柔軟性のある内容になっているとのことです。また報告事項で後ほど事務局から説明があると思いますが、次第にありますように村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会委員について市長から要請がございました。事務局から私のほうに連絡がありまして、私の専権で大変申し訳ございませんが、大滝重秋委員を選任いたしました。今日は和やかに審議をしながらすばらしい計画にしていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3. 報告

(1) 村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会委員の選出について

会 長； 村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会委員の選出について、事務局から説明をお願いします。

事務局； 会長のあいさつにもありましたが、村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会委員の選出について説明いたします。

【資料1 村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会委員の選出について説明】

会 長； 事務局から説明がありましたが、大滝重秋委員からお願いいたします。

委 員； 新年のあいさつに伺った際に、村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会委員への就任依頼があったわけですが、昨日第1回の委員会がありましたので、その内容を説明いたします。委員構成につきましては資料1の裏面のとおり15名で、住民の代表や関係諸団体に属する者等で構成されております。村上市におきましては第1次村上市総合計画、それに基づき村上市都市計画マスタープランがあるわけですが、厚生連村上病院が駅西のほうに移るということから、村上駅前を衰退させてはならないということで、この策定委員会が設けられたとのことです。どのようにして村上駅周辺を活性化すべきか、昨年11月から12月にかけてアンケート調査や座談会等を開きまして、どのように考えているか調査したそうです。アンケートは一般市民、村上駅周辺居住者、高校生、村上駅利用者にとりまして、それらを基にプランを作るということになります。村上駅周辺の現状ですが、人口が大きな問題になりますが、村上駅から半径500

メートル圏内には1,700人、村上駅から半径1キロメートル圏内には1万人程度が住んでいるとのこと。村上駅周辺の活性化にはJR東日本が大きく絡んできますし、今、駅西と結ぶいいアクセスがないということから、村上病院が駅西に移転することを契機に道路整備を考えながら駅西と今の駅前を活性化させたいとのこと。旧ジャスコ跡地が1万平方メートルありますが、これらを含めた活性化をどうするのか、アンケート調査に基づき委員会で論議し、市長に答申したいとのこと。それまではまちづくり基本構想を作りながら、パブリックコメントを実施し、村上駅周辺まちづくりプランを策定したいとのこと。委員会は第1回が昨日ありまして、第2回は2月21日にあります。第3回が3月にあり3回で策定したいとのこと。平成26年度も若干開催したいとのことでした。

会 長； ありがとうございます。委員からも説明がありましたが質疑がありましたらお願いします。

会 長； 周辺整備と同時に活性化も進めていくのでしょうか。

委 員； 旧村上市全体を一つの構想の中において、駅前を位置付けていきたいようですので、駅前だけではなく旧村上市全体をどうしていくかという中で、村上駅周辺の活性化をどうするのかというように私は捉えてきました。

会 長； 病院までのアクセス道をどうするかという話までは入っていないですか。

委 員； 将来的には駅西にきちんと行く道路をつくるということで、今跨線橋を越えて温泉に行く道路と松山を回って行く道路がありますが、不便なので橋梁を造ることも検討していますが、JRという大きな壁がありまして、協議が整っていないとのこと。

もう少し付け加えますと、村上市都市計画マスタープランは平成22年度に策定されていますが、まちづくりの重点目標として五つの重点目標があります。若者が定住するまち、高齢者が安心して住めるまち、交流が拡大されるまち、住み心地の良いまち、市民が協働で支え合うまち、これらを推進しながらまちづくりを進めています。その中で交通体系の方針、パーク&ライド、駐輪場、バスプールなど機能させていきたいとのこと、現在、村上駅と相談しており、駅長の権限のある範囲でタクシー乗り場が改善されると聞いております。これらの話が事務局からありました。駅の橋上化は豊栄で進んでいるようで、また新潟駅もそうですが、これらを視察、調査してどのような形にしたらいいのか協議していきたいとのこと。

会 長； ありがとうございます。ほかに聞きたいことはないでしょうか。委員には当会の代表として大いに活躍していただきたいと思います。

4. 議事

(1) 朝日地区地域活性化推進事業について

会 長； 議事に入らせていただきます。(1)朝日地区地域活性化推進事業について、事務局から説明をお願いします。

事 務 局； 資料2に添って説明させていただきます。

【資料2 朝日地区地域活性化推進事業について説明】

会 長； 今、事務局から説明がありましたが、前回もこの内容について審議していただきましたが、四つの事業のうちどれか一つに絞るのではなく、すべて消化するという内容になっています。予算は50万円あるそうですが、分割せずに集中的に実行する。また実行委員会を立ち上げて実施するという事務局からの説明でしたが、われわれのような年配ではなく、この会に積極的に参加して相手を見つけないといけない人を起用して実行委員会を立ち上げてやることについて私はよいと思います。みなさんからご意見やご質問をお願いします。

朝日地区も人口減少が進んでいますが、生まれる子どもも少ないが亡くなられる方が多いので自然減少が続いています。市報で他地区の生死の方の名前が載っていますが、そのバランスをみても亡くなられる方の数が多いです。なぜ生まれてくる子どもが少ないか考えたとき、やはり嫁婿対策が十分進められてこなかったのも要因にあると思います。何十年も前から言ってきましたが、なかなか実を結びませんでした。これらの点についても、こうすればいいのではないか、こうすれば成功するというような意見を積極的に発言していただきたいと思います。

委 員； 実行委員については、説明のとおりでよいと思いますし、事業内容の4回ということですが、各回ごとに新たに人員を募集するのか、それとも1回目40人を集めて継続するのかお聞かせください。

事 務 局； 事務局としては、最初に募集した人に継続して参加していただきたいと考えています。

会 長； 最初に人を集めるのが大変だと思います。先日も神林商工会主催でありましたが、あちこちでやっているのもユニークな方法を取り入れるなど検討が必要だと思います。

委 員； 朝日地区で20人となっているが男女比はどう考えていますか。

事 務 局； 朝日地区で男性10人、女性10人と地区外で男性10人、女性10人が理想です。

委 員； 男女10人ずつというまちづくりの区分けで各2人です。当地区から男性2人、女性2人を選ぶというのは逆に大変な問題です。選ばれなかったり、声を掛けられなかったとなつてはいけないので、慎重に考えないと大きな問題になるのではないかと心配しています。全部で40人くらいだと大丈夫だと思いますが、朝日地区で20人となるとどうかと思います。私も集落の会計をしており総会に出ましたが、亡くなった方13名に対し予算を執行しました。生まれた方はいないという話でした。ここ数年で目に見えて少子化が加速していますので、ここで手を打たないと10年後までどんどん減っていくと思います。本当に限界集落になりますし、それを飛び越えてもっと悪くなるのではないかと心配しています。

会 長； ここにいる方はみなさん既婚者のようですが、嫁婿で悩んだ方はいらっしゃいますか。昔は私も「嫁をさがして」と言われましたが、最近は言われなくなりました。

- 委員； 責任もあるのでなかなか声が掛からないのだと思います。私の姉も世話役をしたことがありますが、3ヶ月もしたら離婚してしまったことがあり、簡単に世話役ができなくなっていると思います。
- 委員； 今は嫁に行かない、もらわない感じで、私の集落にも独身者がたくさんいます。みなさんこのチャンスを生かせるよう盛り上げたいと思います。
- 委員； 男性については大丈夫だと思います。就農する若い人もたくさんいますので男性の参加者は心配ないと思います。問題は女性の参加者が集まるかどうかだと思います。朝日にも若い女性もいると思いますので、女性が多い職場などにうまく声掛けをして参加してもらわなければならないと思います。若い人が就農しても相手がいないと楽しみもないと思いますし、やりがいも出てこないと思いますので、そういう意味で外から女性を呼ぶという話になると集まるのか心配です。
- 委員； 二つ質問させてください。一つは実行委員の構成はどう考えていますか。二つ目は地区内、地区外で男女どちらも募集するということですが、例えば朝日の女性が地区外の男性と結ばれることも想定されますが、それはそれで仕方ないということでしょうか。
- 事務局； 実行委員会の人選はこの地域審議会のほうから何人かと、商工会や農協などの団体と、冒頭説明したとおり参加者の中からやる気のある方に実行委員になっていただきたいと考えています。二つ目の質問ですが、むずかしいかもしれませんが、この企画では朝日地区に嫁として来てもらえる男女を募集する内容となっています。テレビ番組のように簡単には集まらないとは思っていますが、事務局としては朝日地区に嫁に来られる方を募集したいと考えています。
- 会長； 実行委員会を立ち上げたとき、委員にガソリン代的な報償など出せますか。全く無償になりますか。50万円の予算でとなると難しいですか。
- 事務局； 予算要求したとして認められるかどうかは即答できませんので、平成26年度の審議会で回答したいと思います。
- 会長； 50万円の予算はフリーに使えるのか、それとも制限があるのか。
- 事務局； 実行委員に対しては、費用弁償ということで1回500円とか1,000円という範囲でなら出せるかもしれませんが、委員として1回5,000円というような報償の支出はできないのではないかと思います。
- 委員； 私が携わっていたときは、男性は朝日地区だけ、女性はどこでも良いというようにしていました。そうしたほうが明確でいいのではないかと。確かに男性は集まると思います。女性をいかに集めるかとなれば、山北の百姓やってみ隊には各地から来ているので、その辺も紹介してもらってはどうか。また荒川商工会でも最近婚活イベントをやったので知恵をお借りしてはどうか。
- 事務局； 男性限定というのもいいと思いますが、思っている以上に女性もいると思いましたので、男女それぞれとしました。
- 委員； 25歳から40歳までで朝日地区に独身者がどのくらいいるか、試算したことはありますか。
- 事務局； 試算したことはありません。震災関連で住所を移して仕事をされている方も

いらっしゃるので正確には集計できないと思いますが、ある程度の人数把握はできると思います。

委員； 朝日地区に住んでくれる人ということを中心にしているのですが、離婚経験がある人のところに来てくれるというのであればいいと思います。朝日に住んでいる男性ばかりでなくても女性も集めやすいのではないかと。

委員； 参加人数は40人で、予算が50万円ですので一人当たり1万円ちょっとになるわけですが、これだけの四つの事業をやると予算が足りるのかどうかいかがでしょうか。バスの借上げや食材費など経費が見込まれますがいかがですか。

事務局； この内容ですと大丈夫だと思います。

会長； 民生委員も各集落をまわって独身者がいるというのはわかると思うので、人数把握に役立つのではないのでしょうか。

委員； 区長さんのほうがわかるのではないのでしょうか。民生委員はどちらかという高齢者はわかりますが、自分の集落以外はわからない人が多いと思います。

委員； 支所に独身者は何人いますか。

事務局； 何人かいますが40歳以下だとほんの2、3人です。

委員； 今、結婚式に仲人さんがいません。みんな人前結婚式にしています。仲人が心配して一緒にさせるのがいかにいないかということです。昔は必ず仲人がいましたが、それだけ人のあっせんで仲人を立てて付き合いすることがなくなってきたということだと思います。またこのようにセッティングしても誰かが手取り足取り声掛けしないと進まないと思います。参加者には声を掛けられない人もいますので、会場を準備するだけでなく、主催者側でうまく声掛けする必要がありますと思います。やり手の仲人的なスタッフが必要ですし、次回も参加する雰囲気づくりが大切になると思います。

委員； 今の子どもたちは一緒にさせることは大変で、前は誰かその辺にいないかと頼まれて会わせるとすぐ一緒になったが、最近の人は親が一生懸命だが、まずいいから心配しないでくれと子どもに言われます。そう言って自分で探すかという探しません。

会長； 親が一緒だと何もしなくてもいいので居心地がいいようです。子どもがパラサイトなのか親がパラサイトなのかわかりませんが、お互いに支え合っているのかもしれない。

委員； 父親は一生懸命探しているのに、母親がこのままでいいという家庭もあります。よそに出たり入ったりするのがいやという親もいます。

会長； さまざまな社会的な要因もいっぱいありますね。

委員； イベント終了後の懇親会は会費制ということですが、予算のほうからいくらか支出できないのでしょうか。

事務局； 自己負担でお願いしたいと思います。

委員； イベント終了後の懇親会が一番いいような気がしますがいかがですか。

事務局； 案にありますバーベキューや山菜料理をそのまま使ってもらうのはいいと思いますが、市の予算を使ってアルコール類の提供はできません。

委員； 1回目から4回目までずっと参加してくれる女性がいたら脈がありますね。

会長； 平成 26 年度に今のように継続して話し合っていくとだんだん焦点が絞れ、平成 27 年度に実践することになるので、1 年間あれば妙案が浮かぶのではないかと思います。

委員； 独身者を集めて講習会、講演会をしてはどうですか。コンサルタントもいると思いますので、独身男性をすべて集めて相手を見つけるにはどうすればいいのか講義してもらってはどうか。隣に女性がいても黙っている状態なので、その気にさせなければ何もできないと思います。以前にも話をしましたが、商工会で女性の講師を呼んでいろいろ話をさせていただきました。どうアタックすればいいのか、そういう勇気を持たなければだめだということを独身男性に聞かせて本人が変わらなければ、いくら機会を与えても成功しないのではないかと思います。

会長； 目からうろこが落ちるような話が聞けると、本人は悶々としていると思いますが一歩踏み出せるかもしれません。高根でこちらに移住してきた人の結婚式があると聞きましたが、結婚までの経緯や内容はわかりますか。

委員； 都会から 6 年前に高根に来た男性がいます。共存の森ネットワークという組織が 10 年くらい前から毎年大学生を引き連れて高根に来ていますが、その時に高根を好きになってくれた男性で、自分は高根に住みたいということで 6 年前に来ました。本当は農業をしたいということでしたが、高根生産森林組合で生活費を稼ごう私のほうで言いました。その後 3 年ほどたって、やはり同じ組織で知り合った横浜の女性が彼のことを好きになって交際しましたが、高根は雪深いし冬を越せるかどうか心配でした。一冬高根で過ごしたら大丈夫だということで、昨年 11 月に入籍しました。その後暮れに両方の親に会ってもらって正式に承諾してもらったそうです。向こうでの結婚式はこの高根の結婚式の後にするそうですが、高根ではしばらく高根同士の結婚式をしたことがないということから、昔は集落同士であれば花嫁行列や荷送りをしていたそうなので、それをやりましょうということになりました。その実行委員会が高根フロンティアクラブです。高根フロンティアクラブが共存の森ネットワークを受け入れており、メンバーと仲良くなっていたことから、昔ながらの高根でやっていた結婚式をしましょうということになりました。ただし親は来ないということで、私がお嫁さんの親代わりになって私の家から嫁に出すことになりました。これはただのイベントではなく本当の結婚式ですので、いい加減なことではできないので、今、女房と二人でお金は掛かりますが貸衣装の準備をしています。そのようなことで 3 月 1 日の 12 時前に我が家を出る予定にしています。なぜその時間にするかというと、都会から同じ活動をしていた仲間や大学時代の友だち、共存の森の講師など 30 人も来るので新幹線の時間に合わせました。我が家から 1 時間ほどかけて区民会館まで歩いてお披露目することになっています。我々としては高根に住んでくれるということですごくありがたいですし、また高根をマスコミを通して宣伝してくれるのもすごくありがたいと思っていますので、集落ぐるみで応援していこうということです。

会長； ありがとうございます。すばらしい発想ですね。高根はマスコミを利用す

るのがすごくうまいですね。

委員； 住宅はしっかりしたものがあつたのですか。

委員； 6年前からある家の離れを借りていますが、近いうちに空き家もあるのでそちらを彼らに持たせたいと思っています。

会長； その大学生は何人くらい来るのですか。

委員； 今は20人くらい来ます。

会長； その人たちをぜひこの企画に参加させましょう。

委員； 高根にも独身男性はいますが、高根に住んでもいいという女性もいるのですが、その女性たちに告白できない男性が多いです。既婚者や彼女がいる男性はよくしゃべるのですが、独身男性は話しかけられず、女性のほうから付き合っしてほしいと言われれば付き合うが、自分のほうから言えない独身男性が多いです。チャンスを与えているがものにできないので、そういう人の指導が必要だと思っています。

会長； 結婚したい男の人もいっぱいいるが、女性でもいっぱいいると思います。めぐり合う機会がないのだと思います。

委員； 企画書のとおり人を集めたとして、男同士、女同士固まってはどのようなもので、男に限定するのか、女性を含めてするのかは別として、コンサルのような方に指導してもらおうというのは効果が上がりそうな感じはします。若い人の気持ちはわかりませんが、結婚したいのか、したくないのか、一人で生きていく気なのか、伴侶をもらって生活したいのか気持ちがつかめません。この企画も男女を集めて付き合うよう仕向けて行くというのも一つの方法だとは思いますが、独身者を集めて指導するのも効果があるのではないかと思います。

会長； みなさんからいい意見が聞けましたし、婚活に向けた講習会もいいだろうし、高根に大学生が来るときに、こちらから行くとか、来てもらうとかいいアイデアも見えてきました。

委員； 私のまわりにも独身男性はいますが、40歳以上になって両親ががんばっていると難しい気がします。農家に若い男性もいますが、言葉の障がいもあるのか堂々と方言を使わず、言葉を飾ろうとするといいのか、特に都会の女性としゃべることができない要因になっているのではないかと思います。

会長； 外国人と結婚している方もいるので、日本人同士ならわかってもいいのではないかと思います。みなさんいかがですか。

委員； 私の職場にも独身女性はいますが職場結婚というのはなかなかありません。時間もだんだん過ぎていく状況です。以前は職場でも婚活ではないですが、機会はあったようです。委員が言われたようにタイミング的なものもあると思いますが、やはり男性から積極的にいかないとだめだと思います。研修会というのはいい案だと思います。

会長； 参加者募集について大きな壁にぶつかっているようですが、これを突き破って平成26年度にいいアイデアを出して、平成27年度に実施したいと思います。

委員； 夢農園に参加している方はどのような方ですか。

委員； 夢農園は山北の百姓やってみ隊とは違い、老後の家庭菜園という状況ですの

で、婚活に参加ということにはならないと思います。

委員； 委員の話では男が情けないとうことですが、例えば25歳を過ぎた独身の女性が地域にいると思いますが、そういう積極的ではない女性に対してはいかがですか。そういう女性をターゲットにするのもいいのではないかと思います。

事務局； まずは広く募集して集まればそれに越したことはありませんが、集まらないようであれば委員のみなさんや区長さんに一人二人お願いしますと頼んで集めたいと思います。接し方の講習などについては、1回目の活動前にある程度レクチャーする計画となっています。

会長； ほかにご意見はありませんか。ないようですのでこの企画を基本とし、平成26年度に内容を審議して実行するということよろしいですか。

一 同； 異議なし。

5. その他

会長； 事務局から「その他」について何かありますでしょうか。

事務局； 委員の任期は、平成26年4月30日までとなっておりますが、実質今回の審議会が最終となりますので、支所長からお礼のあいさつをさせていただきます。

【支所長あいさつ】

副会長； 2年間にわたりまして大変ご苦勞さまでございました。ようやくお役御免になれるかなという気もしますし、支所長が言われたとおり、まだこの審議会は続くわけですので、少しは役に立ったかなと個人的には思いますが、今後も地域審議会が発展しますようにご祈念いたしまして閉会のあいさつとさせていただきます。今日は大変ご苦勞さまでございました。

6. 閉会 (14:45)